〈編集後記〉

生物多様性保全と関西自然保護機構会誌

1992年に生物多様性条約が採択されて以来，国際的に重要な課題として生物多様性の保全に関する取り組みが進められてきており，わが国においても1995年に「生物多様性国家戦略」が決定され，2002年には「新・生物多様性国家戦略」が定められています。また，こうした国際的な動向や国における取り組みの進展を受けて，多くの地方公共団体においては，地域の視点に立って，その区域内における希少な野生生物の保護を目的とした条例が制定されています。さらに，そうした在来の野生生物の脅威となっている外来生物への対応まで視野を広げた条例制定もでてきています。ただし，希少種のみならずそれ以外の様々な在来の野生生物との共生も含め，生物多様性の保全全般を対象とした条例を制定している都道府県は，滋賀県を除いてほとんどないのが現状です。

滋賀県では，県内の数多くの野生生物について絶滅のおそれが指摘される一方で，いわゆる有害鳥獣による農林水産業等への被害，さらに新たな外来生物の侵入・定着などの問題が生じていることを受け，2006年３月に「ふるさと滋賀の野生動植物との共生関する条例」を制定しています。本条例は，保護区の指定を含めた希少種の保護対策，外来種対策および有害鳥獣対策を主な柱とし，野生動植物との共生が図られる地域社会づくりをめざしています。

一方，関西自然保護機構会誌においては，これまでも種多様性や希少野生動植物種，外来種などの報告が多く取り上げられています。特に，最近になって27巻２号と28巻１号，それにこの28巻２号では，特集記事を中心に生物多様性保全，希少種，種多様性，外来種などの内容が多数掲載されています。生物多様性保全や外来種対策，鳥獣害対策などを実効性あるものとしていくためには，会誌に掲載されているような，多くの貴重な調査研究成果が欠かせないものと考えます。こうした意味においても，関西自然保護機構会誌の果たす役割は大きく，また編集の責任の重大さを痛感しております。

（小林圭介）

自然への視点とKONCの活動

今号も玉稿と労作が揃い，多彩な内容となりましたことを編集者としてうれしく思います。つぎに，発刊が遅れましたことを深くお詫びいたします。

さて特集記事は，KONCが実施したシンポジウムやセミナーに関連する原稿を掲載しています。2006年度「関西の自然を考える」と題して開催したシンポジウムでは，若い研究者の興味深い発表が多くありました。和歌浦で開催した現地観察会とセミナーに関連する特集記事は，干潟環境の重要性と問題点を知る興味深い内容です。本誌の原著論文や報告は2名の編集委員の査読（原稿内容によって編集委員以外のご協力も得ています）を経て掲載されますが，次号掲載に向けて，現在も投稿者と査読者の間で熱いやりとりが続いています。ご期待ください。

特別寄稿として只木良也先生が沖縄の森について問題提起を含む原稿を書いてくださいました。また，今，話題となっている「ナラ枯れ」について久しぶりに四手井綱英先生から原稿をいただきました（この原稿掲載にあたっては山倉拓夫先生が労をとってくださいました)。前号の山倉先生に続いて，今号は吉良竜夫先生が小川房人先生の追悼文を寄せてくださいました。吉良先生に追悼文をお願いしたところ，小川先生との長年の交友関係から思いを綴りたいと快くお引き受けいただきました。生産生態学を日本で確立することに貢献された小川先生の足跡をたどる原稿は，吉良先生の生態学への的確な視点と小川先生への暖かいお気持ちに溢れています。

私事で恐縮ですが，大学院生時代（菅沼孝之先生の研究室におりました）に，吉良先生が大阪市立大学で教授をしておられ，依田先生や山倉先生がおられた植物生態学研究室のゼミに1年足らず参加させていただき，生態学にたいする考え方をずいぶん学ばせていただきました。その頃に，この関西自然保護機構の学生会員となりましたので，KONCと私とのつながりもずいぶん長いものになります。今，岐路に立つKONCですが，より発展的な活動に向けて，会員のみなさまのご投稿と声を心よりお待ちしています。

2007年の亥年にちなんで，表紙は奈良公園で活発な活動を繰り返すイノシシ親子の写真を提供いただきました。奈良公園ではムササビも健在ですが，夜のシカは昼間とは違い？，野生動物の顔をしています。

（前迫ゆり）

株式会社 乃村工藝社

大阪事業所
〒559-0012　大阪府大阪市住之江区東加賀屋1-11-26
本社
〒108-8565　東京都港区芝浦４丁目６番４号

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

国土環境㈱と日本建設コンサルタント㈱は
平成18年６月１日、合併いたしました。

いであ株式会社
http://ideacon.jp

大阪支社
〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島7-20-1 電話:06-6453-3033
（ＫＭ西梅田ビル）
大阪支社 環境コンサルタント事業部
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀3-2-23 電話:06-6448-2551
本　社
〒154-8585 東京都世田谷区駒沢3-15-1 電話:03-4544-7600

環境・土木・建築の総合エンジニアリング

株式会社 環境総合テクノス
THE GENERAL ENVIRONMENTAL TECHNOS CO.,LTD

〒541－0052 大阪市中央区安土町１丁目３番５号
ＴＥＬ：06－6263－73606（営業部）
ＵＲＬ：http://www.kanso.co.jp/

一人ひとりにとって、
暮らしやすい環境を提供したい

株式会社
建設環境研究所

〒170－0013
東京都豊島区東池袋２－23－２
ＴＥＬ：03－3988－1818
ＵＲＬ：http://www.iijnet.or.jp/
kensetsukankyo/

kuraray
株式会社 クラレ

〒100－8115
東京都千代田区大手前１－１－３
大手町センタービル

株式会社
西日本旅客鉄道

〒530－8341
大阪市北区芝田２－４－24

維持会員としてご協力いただき誠にありがとうございます。

KONC 関西自然保護機構